

(様式)

## 令和3年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立安方中学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・ 2学年は、昨年度目標値を下回った「活用」の項目が目標値を大きく超えた。
- ・ 3学年は、既習事項すべての内容において目標値を上回った。

#### (2) 課題

- ・ 1学年は、全体として目標値を下回っている。特に、知識・技能の正答率が低く、基礎的な学習事項の定着、資料の読み取りから学力向上を図る必要がある。
- ・ 2学年は、地理的分野における「日本の地域構成」について目標値を下回っている。既習事項の振り返りを行う必要がある。
- ・ 3学年は、授業の進捗の関係で、検査実施時に学習が不十分だった「近代の日本と世界」について振り返りを行う必要がある。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和3年度結果	令和2年度結果	令和元年度結果
第1学年	教科全体 ▽ 基 礎 ▽ 活 用 ▽		
第2学年	教科全体 △ 基 礎 △ 活 用 △	(第1学年時) 教科全体 ▽ 基 礎 △ 活 用 ▽	
第3学年	教科全体 △ 基 礎 △ 活 用 △	(第2学年時) 教科全体 △ 基 礎 △ 活 用 △	(第1学年時) 教科全体 △ 基 礎 △ 活 用 ▽

※すべて目標値との比較。△は目標値を上回っている。▽は下回っている。

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値・全国および区平均をそれぞれ下回っている。	目標値と同数であり、全国および区平均をそれぞれ下回っている。	目標値・全国および区平均をそれぞれ下回っている。

##### ② 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値・全国および区平均をそれぞれ上回っている。	目標値・全国および区平均をそれぞれ上回っている。	目標値・全国および区平均をそれぞれ上回っている。	目標値・全国および区平均をそれぞれ上回っている。

③ 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値・全国および区平均をそれぞれ上回っている。	目標値・全国および区平均をそれぞれ上回っている。	目標値・全国および区平均をそれぞれ上回っている。	目標値・全国および区平均をそれぞれ上回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ICT を活用し視覚的な教材を多く用いて、生徒の知識・理解を伸長するとともに、ワークや小テストなどの学習到達度の振り返り機会を設ける。	歴史的・地理的事象の因果関係や理由などについて、文章等でまとめる活動を通して生徒の思考力の伸長を図る。	単元ごとの振り返りやまとめの作業（タブレット学習）を通して、学習法の確認や既習事項の再確認をする機会を設ける。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ICT を活用し視覚的な教材を多く用いて、生徒の知識・理解を伸長するとともに、ワークや小テストなどの学習到達度の振り返り機会を設ける。	歴史的・地理的事象の因果関係や理由などについて、文章等でまとめる活動を通して生徒の思考力の伸長を図る。	単元ごとの振り返りやまとめの作業（タブレット学習）を通して、学習法の確認や既習事項の再確認をする機会を設ける。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ICT を活用し視覚的な教材を多く用いて、生徒の知識・理解を伸長するとともに、ワークや小テストなどの学習到達度の振り返り機会を設ける。	歴史的・地理的事象の因果関係や理由などについて、文章等でまとめる活動を通して生徒の思考力の伸長を図る。	単元ごとの振り返りやまとめの作業（タブレット学習）を通して、学習法の確認や既習事項の再確認をする機会を設ける。